

シラス卵稚仔分布調査情報 (No.5)

平成 28 年 8 月 23 日(火)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸 (179トン)

【調査結果】

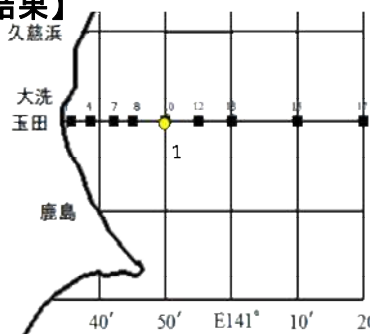


図1 カタクチイワシ卵採集結果

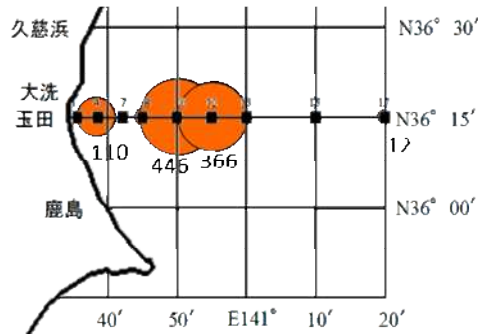


図2 イワシ類仔魚採集結果
 (マシラス, ウルメシラスを含む)

- 調査点
 (上の数字は地点番号)
- 採集量
 (下の数字は採集数)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17	
	経度		140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'	20'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46	
水深		15m	26m	39m	53m	121m	284m	521m	770m	1000m	
観測結果	水温 0m		25.6	25.2	24.9	24.4	23.9	23.7	23.7	23.6	24.9
	50m		-	-	-	15.4	14.3	14.4	14.4	14.2	17.3
	100m		-	-	-	-	12.8	12.4	12.6	11.8	13.4
	流向° (10m)			2	351	356	38	128	133	125	123
	流速Kt(10m)			0.4	0.6	0.2	0.4	0.8	0.8	1.0	1.5

【まとめ】

調査ラインの水温は、表層では 23~25℃、水深 100m 層では 11~13℃（上表）と先月からほぼ変わっていません。また、140° 55' 付近より灘側は真潮傾向、沖側は逆潮傾向で、沿岸域には黒潮系水が波及している様子が見られました（図3）。

カタクチイワシ卵の採集は1粒のみでしたが、イワシ類仔魚の採集量はこの時期としては多く（図1, 2）、その分布は潮境付近（140° 50~55'）に集中していました（図2, 3）。

現在、茨城沿岸にはまとまったシラス漁場はみられず、漁模様は低調に推移していますが、今回の調査では、黒潮系水の波及により平年を上回る仔魚が採集されました。今後も同様の海況が続く場合、シラスの漁模様が一時的に好転することが期待されますが、最盛期である9月の漁模様は、平年に比べて低調に推移するとみられます（秋シラス予測の詳細は「水産の窓 28-No. 20」を参照）。

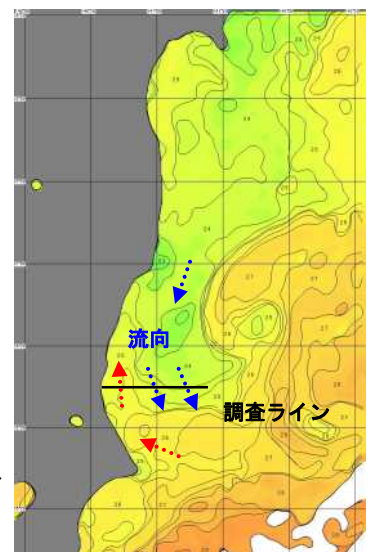


図3 NOAA衛星画像 (8/25)